

○ 上原ミートがミートワンに参画、沖縄エリアの加工品販売を強化

沖縄県豊
見城市の食肉
卸・加工の㈱
上原ミート

GlobalMeatOne



豊かな食生活へのお手伝い

株式
会社 上原ミート

(上原善仁社長、資本金1,500万円)は22日、畜肉関連事業におけるマーケティング会社㈱ミートワン(東京都港区、池本俊紀社長)に参画した。上原ミートが持つ加工機能にミートワンの各参画企業が培ってきたノウハウ・技術を融合させ、観光客の増加などで今後さらに需要拡大が見込まれる畜肉加工品を県内に販売していく方針だ。

1953年創業の上原ミートは、各種食肉の卸売・小売のほか、自社工場では業務用・OEM製品の製造を手掛けている。自社工場には真空調理室や熟成庫も設けており、ラフテーやソーキ、ローストビーフ、スモークなど沖縄のメーカーならではの多彩な畜肉加工品を展開している。

沖縄県は12年以降、外国人観光客を含めた入域観光客数が年々増加しており、18年度は6年連続過去最高の1,000.4万人に上り、観光収入も6年連続過去最高の7,341億円に達している(県文化観光スポーツ部観光政策課)。県は21年までに観光客数1,200万人を目標に掲げており、食肉の一大消費地として需要の高まりが期待さ

れている。こうしたなか、ホテルや外食店では人手不足の問題もあり、手間をいらずに美味しいメニューを提供できる業務用加工品や一般家庭も含めた簡便調理品のニーズが高まっている。

18年2月に設立したミートワンは、双日食料をはじめ㈱江戸清、㈱ダイチクフーズ、トリゼンフーズ㈱、日本食品㈱、㈱丸和、㈱ミート・コンパニオン、㈱山畜、大東港運㈱、㈱二葉、松岡冷蔵㈱、およびその他参画企業が出資者となっており、畜肉加工から物流に関わる国内有力企業が参画している。

今回の参画により、上原ミートとしてはこれから参画企業のノウハウや技術を生かした新たな加工品を製造することが可能となる一方、それぞれの参画企業が手掛ける加工製品のほか、ミートワンが監修する簡便調理品「肉一番シリーズ」(販売者:双日食料)などを沖縄エリアに広く展開していく。さらに、双日食料と業務提携する三谷フーズやアドバンスフーズとの協業も期待されるところだ。